子育て塾

6歳ころの発達の様子と子育てのポイント

平成28年11月8日

子育て支援センターバンビー二広場

講師:根本 てる子

重心の置き方や力の入れ方のコツをつかみ、体のバランスをとるのが上手になってきます。複雑な動きが可能になってくるので道具を使った動きの複雑な遊びを取り入れてあげましょう。えんぴつやはさみやナイフといった道具を3指で支えて扱い、それぞれの部位への力の入れ方、手や指のコントロールが可能になるので、手先を使ったより細かい作業ができるようになる。人物画における表現が細かくなって、その理由や情景について説明できるようになる。また友達集団であそぶことが楽しくなり、役割やルールに基づく自分と他者の立場を理解し、役割交代ができ始める。活動範囲や興味の対象が家庭から地域へと広がってくるため、社会のルールに乗っ取った言動を少しずつ知らせていきたい時期です。













例として、登園の子どもたちの姿を説明してくださいました。10月に"運動のつどい"があった時の絵を描こう!となり、子どもたちで先生にプログラムをもらい、自分たちでプログラムにそって分担して描き始めた。というエピソードを話して下さいました。感動した体験を表現したり、友達同士での共同製作も可能になります。数の理解も進み、物を配列したり、空間を頭のなかで描き、完成をイメージしながら構成したりすることができるようになってきます。子どもの集中力や取り組む意欲を支える環境を意識しましょう。カラーボックス棚などを利用して、はさみ・折り紙・くれよん・工作できる箱等・・・をコーナーとして作ってあげることもできますね。







*次回は12/13(火)子供部屋の環境作りです。